

**大学名** 神戸大学大学院保健学研究科 認知症予防推進センター

第64号 特集テーマ「地域の中核となる大学」

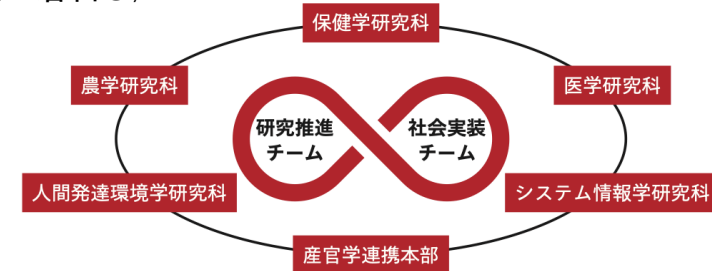
**表題** 健康長寿の実現に資するエビデンス構築とその社会実装としての「コグニケア」事業の推進

神戸大学大学院保健学研究科認知症予防推進センターは、認知症の「予防」の重要性に着目し、総合大学の強みである理系・文系を横断したプロジェクトの専門家の英知を結集して(連携体制図参照)、認知症予防に資するエビデンスの構築を目指しています。現在AMED研究として、兵庫県丹波市において認知症予防を目指したランダム化比較試験を実施中です。

また研究から得られた成果をどのように社会実装に結びつけるか、といった点も課題であり、この解決策を検討する場として、「運動+学習+健康チェック」の三要素からなるヘルスケアサービス「コグニケア」を開発、展開しています。2019年から拠点型、そして2020年からはコロナ禍でも持続可能となるようオンライン型のプログラムとして社会実装しています。

認知症予防の事業化により、運動教室、健康づくりセミナー、認知症機能検査などの社会実装を促進するとともに、そこで得られたフィードバックを効率よく認知症予防研究に反映させるイノベーション・エコシステムを構築しています。今後はさらに自治体や民間企業とも連携を深め、大学の研究を実際に社会に役立てる活動を展開し、健康長寿社会の実現に貢献していきます。

認知症予防推進センターの連携体制



丹波市における予防介入研究の一コマ



オンライン型 コグニケア

